



四国版

日本教育新聞社

〒105-8436 東京都港区虎ノ門1-2-8
☎03(5510)7777(大代表)

郵便振替 0015-8-196500

©日本教育新聞社 2013

関西支社

〒530-0003
大阪市北区堂島2-4-27
☎06(6341)6111

購読申し込み
〒03(5510)7828
ryu-kodoku@kyoku-press.co.jp
http://www.kyoku-press.co.jp

予防教育科学に取り組む

徳島県藍住町立藍住西小学校

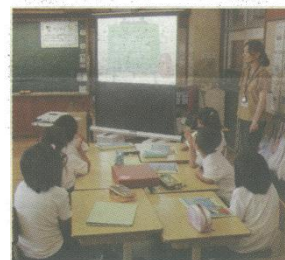
徳島県の藍住町は、町32年を迎えた。藍住町は、名が示すとおり藍染で有名な地域。阿波藍の栽培タウンとして発展。30年のはじまりは、平安時代から明治にかけて最盛期を迎えた藍も、時代の流れとともに移り変わりをみせ、衰退の一途をたどっていく。しかし、10数年前からは一部の農家が藍づくりを再開し、町の伝統を守ろうという人たちも増えている。

藍住町立藍住西小学校（青木秀明校長、児童数590人）は、本年創立に「心ゆたか」を掲げている。それは、①子どもに対する愛情を基盤とする教師、②必要な見識と使命感を持つ教師、③研鑽を続け自己改革を恐れない教師、の3点。

これら、教育目標の実現のため、同校では本年度重点目標として、以下の項目を実践している。①登下校、学習指導等の教育活動内での「安全・安心の確保」、②教師と子ども、子ども同士の良好な人間関係を築く「学級の活性化」、③学校とボランティアや地域の各



機関との連携を維持、強化する「家庭・地域との連携が豊かな学校」、④朝の読書の充実と家庭での読書の推進など「学力向上に資する読書推進と授業改善」、⑤いじめと人権問題についての理解を深める「人権教育の充実」、⑥行事や児童生活を通しての体力向上推進など「体力向上に向け



また同校は、本年度から鳴門教育大学予防科学教育センターが進める、いじめや不登校を予防するための、予防教育科学に取り組んでいる。藍住町では、小学校4校全

の3年生を対象に、予防教育科学に取り組んでいる。（本紙6月17日付既報）
藍住町では、予防教育の本質を、「子どもの目線に立った現代版道徳教育」、「理念やスローガンを単に呼びかけるのでなく、実践的カリキュラムを伴った教育」、「やる気と安心感をもって積極的に生きていく」とする力を付与する教育」と捉えている。
予防教育科学は「自立性の育成」と「対人関係性の育成」を大目標に掲げ、それらを支える4つの構成目標として、①自己信頼（自信）の育成、②不登校、規範意識に直接かかわる取り組み。脳科学の知見に基づいた発想が新しい。今の子どもが持つ課題に対応しようとしている」とその効果に会性の育期待している。